

還暦に思う

親父がなくなったのが59才。12月が誕生日だったのですが、誕生日までは持たないとので1月に還暦の祝いをしたのが25年前です。

それから五年後、私は40才で悪性リンパ腫、そして50才で直腸癌になりました。良いお医者さんのお陰で二度も癌を克服しましたが、親父の年まで生きるは無理だなと内心思っていました。しかし、議員生活25年、30年と重ね、そのたびに多くの方に支えられて、祝賀会まで開催していただき勇気づけられました。今日の日を迎えることが出来たのは、多くの方のご支援のお陰です。

私のこれまでの人生は、人と運に恵まれた楽しいものでした。貧しいながらも両親からたくさんの愛情をもらったことが、私の生きざまの根源だと思います。

誰に対しても、どんな時でも、困った人がいれば全力で助ける。見返りは望まない。ただひたすらに人のために尽くすことが私の宿命だと思っています。議員はそんな私にとって天職です。荒波もありましたが家族の笑顔が無言の励みでした。

しかし、最近の県議会の政務活動費をめぐる混迷は情けない限りです。個人的な問題ではなく、県議会という市民からかけ離れた所の体質の問題でしょう。市議会においても改めて総点検を行い、日本一の改革された議会をつくり、市当局とは是々非々で丁々発止の政策論議を高めることが市民の利益になります。

でも、私も反省しなければならないことが多々あります。性格が短気なところや議会における多数派の形成など課題があります。

これからは、個人的には穏やかに、議員としては同志を増やして、政策実現のスピードアップを図ります。

私は生まれ変わった気持ちで新しい挑戦をします。

期待してください、必ずやり遂げます。

●2013年の平均寿命

・男性80.21才、女性86.61才

●60年前の平均寿命

・男性63.60才、女性67.75才

●1954年のトピックス

・カ道山などプロレスブーム

・日本初の缶入ジュース発売

●竹中隆一の記録

①公務員生活39年6月

②結婚生活36年10月

③議員生活31年5月

④自治会長24年1月

2014年9月29日

竹中隆一